



2025年9月16日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ  
(東証グロース・コード3070)  
本社所在地 東京都台東区上野1丁目16番5号  
代表者 代表取締役社長 宮崎 明  
問合せ先 管理本部長 田上 昌義  
電話番号 (03) 3871-0111 (代表)  
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

## 新たな事業の開始に関するお知らせ ～都市油田ビジネスに参入～

当社の子会社である株式会社 JB サステナブル（本社：東京都台東区、代表取締役社長：宮崎 明、以下「JB サステナブル」）は、2025年9月16日開催の同社の取締役会にて、二次資源ホールディングス株式会社（本社：大阪府中央区瓦町、代表取締役社長：廣田 耕一、以下「二次資源ホールディングス」、HP：<https://srhd.jp>）と共同で再生重油製油所運営事業を開始することを決定しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 事業開始の趣旨

当社は長年、ジェリービーンズブランドの婦人靴を店舗及びECにて販売する中で、環境に配慮した素材の使用や、余剰在庫の削減、過剰生産からの脱却のためのカスタムオーダーシューズの展開などを推進して参りました。2025年6月12日に公表（子会社設立に関するお知らせ（株式会社 JB サステナブル））の通り、これまで既存事業を中心に行っていたサステナブルの取り組みを事業化するために、子会社 JB サステナブルの設立を行いました。

本件は設立の目的の一つでもある「廃棄物処理・再資源化」事業の一環として、廃棄油や廃棄プラスチックを再生重油に変換する再生重油製油所を二次資源ホールディングスの運営ノウハウを最大限に活用して共同運営を行います。

#### 2. 新たな事業の概要

##### (1) 新たな事業の内容

JB サステナブルと二次資源ホールディングスで共同運営する再生重油製油所で再生重油に変換された油は、再生重油自家発電機を用いて発電することが可能となり、当社は、病院や老人ホーム、温浴施設や工場を中心に、電力のコストダウンと非常時の電力確保というユーザーメリットを提供することで事業化して参ります。

再生重油製油所で使用する発電の原料となる廃棄油や廃棄プラスチックについては、廃油については年間約270万トン、廃棄プラスチックにおいては年間約715万トンともいわれており、現在再生油や廃棄プラスチックを含めた「未活用エネルギー」に定義される日本国内での供給量は全体のたった3%程度と非常に低いことから、日本の新たな「都市油田」とも期待されております（出典：環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書\_R5速報値、資源エネルギー庁\_令和5年度（2023年度）エネルギー需給実績（確報）」）。

近年、日本では電気代の高騰や災害による停電対策、CO2排出量削減が求められています。本件の取り組みはこれら3つの社会課題の解決が可能となるため、事業者・利用者・社会の「三方よし」のビジネスモデルとなることから、潜在的なニーズの掘り起こしを行うことで当社事業の拡大に大きく寄与するものと期待しています。

(2) 再生重油製油所について

(1) 名 称	仮称) たつの再生重油製油所
(2) 所 在 地	兵庫県たつの市揖保町松原字岸ノ下65-1、64-3、66 東用字木村田135番1
(3) 敷 地 面 積	約743 m <sup>2</sup>
(4) 主 要 設 備	24t タンク×2、オイルタンク、廃プラスチック処理プラント、 燃料製造装置、改質燃料製造装置
(5) 供 給 電 力 規 模	4000KWh 相当の再生製油生産規模

- (3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容 (2025年8月~2027年7月)  
共同事業保証金として、二次資源ホールディングスに2億円の支払いが発生します。  
これらは手許資金から充当いたします。

3. 日程

取締役会決議日 : 2025年9月16日 (火)  
事業開始期日 : 2025年10月1日 (水) 予定

4. 今後の見通し

本件は当社の中長期的な企業価値向上に資するものと判断しておりますが、事業開始時期から鑑みて当社の2026年1月期の業績に与える影響は軽微と考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上